

足立区立千寿小学校
校長 細田 儀広 様

足立区立千寿小学校 開かれた学校づくり協議会

令和6年度 学校関係者評価書

1 自己評価書（学校経営計画・自己評価書）全般について

本校が、安全、安心に配慮し、「子どもファースト」で児童一人一人を大切にした教育を推進していることを評価する。特に、児童数増加により安全な登校を確保することが難しくなりつつある現況の中で、登校時間を拡大し、分散登校を可能ならしめた点は、大いに評価されるべきである。

また、千寿小生活スタンダード「5つのあ」等による組織的な取組により、挨拶等の基本的な生活習慣が定着しつつある。さらに、自己肯定感を高めさせる全学年1回以上実施した異学年交流も充実していた。引き続き、調和のとれた豊かな人間性をもつ児童の育成に向けて尽力いただきたい。

3つの重点的な取組事項：「学力向上アクションプラン（3つの資質・能力の育成）」「豊かな心の育成」「体力・運動能力の向上と健康の増進」については、バランスよく成果を上げている。目標値が高く、自己評価を下げざるを得ない面もあるが、「児童の生活・学習アンケート」や「保護者による学校評価アンケート」は総じて高く良好な数値を保持している。あまり数字にこだわりすぎずに、質的などところで、楽しい学校の創造、楽しく分かる授業への改善に努め、児童の気力・体力の充実を図っていただきたい。

○【重点事項1：学力向上アクションプラン（3つの資質・能力の育成）について】

区調査（2～6年）において、国語・算数の通過率がそれぞれ86.0%、86.8%と、目標とした水準を達成、国調査（6年）の平均正答率の対都平均は、国語が+5ポイント、算数が+6ポイントという良好な結果であった。

一方、単元テストの結果は、平均達成率は80%を超えているが、平均達成率80%を達成した児童の割合は、4教科で80%には届かなかったという。今後、80%に届かなかった児童への補習や基礎基本の確実な定着に向けて、A Iドリル等の活用を含めた、学力向上策を継続していただきたい。

○【重点事項2：豊かな心の育成について】

「学校が楽しい」と「児童の生活・学習アンケート」で回答する児童が多く、全児童の明るい学校生活の実現が図られている。PTAによる挨拶運動の充実もその一端を担っているものとする。

一方で、割合的には低いのが、外国にルーツのある児童等、家庭との緊密な連携のもと児童の生活を見守り、コミュニケーションを密にとる必要がある家庭もある。相談機能や情報共有の一層の充実に向けて、引き続き、児童の豊かな心の育成に向け、保護者の理解・協力を得ながら、家庭と連携した継続的な取組に期待している。

○【重点事項3：体力・運動能力の向上と健康の増進について】

全学年で、外部講師を招き、本物にふれる機会を意識的に増やしたことで、児童の学びに向かう姿勢や技術面が向上している。引き続き、運動機会のさらなる確保と質の向上を目指し、児童一人一人の「スポーツ志向」を確実に高めていただきたい。

健康の増進については、よりよい生活習慣の確立、さらにはその継続に向けて、家庭との連携・協働をさらに強化していただきたい。特に、運動習慣の確立に努めていただきたい。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

教育活動の可視化について、保護者評価は91.5%と満足度は高く、新しい情報が保護者、地域に向けて発信され、開かれた教育活動が展開されているものとする。引き続き、地域の教育センターとしての役割を担い、児童の豊かな成長を育む教育活動を実施していただきたい。

3 その他

往々にして保守が停滞を生むことは衆知の事実である。現状に甘んじず、さらによりよい学校を目指して挑戦する学校を地域はしっかりと支えてまいりたい。伝統ある学校が、さらに未来に向けその輝きを放てるよう、期待する。